

平成20年度 フッ化物洗口普及モデル事業実施報告書

【市町村名】 大網白里町 【郡市歯科医師会名】 山武郡市歯科医師会

実施施設数			
保育所数	幼稚園数	小学校数	中学校数
1	5	1	0

1. フッ化物洗口に関する前年度までの経緯

平成 17 年度、町内で最も齲蝕罹患率が高い小学校において、学校長、養護教諭、学校歯科医ともに協力的であることから、フッ化物洗口の実施について検討していたところ、県より本事業の通知があった。県の後押しもあり平成 19 年 1 月よりスムーズに実施することができた。しかし、開始直後より日本教職員組合養護教諭部会においてフッ化物洗口の反対意見が強く出始め、郡内の養護教諭に大きく影響し、その結果、小中学校での規模拡大は非常に困難となった。

また平成 19 年度、本事業の実施について承諾の得られた幼稚園保育所9園において、基盤整備を行い平成 20 年度の実施に備えた。

2. 推進体制づくりの経緯

実施事項	具体的な内容	評価
要綱の制定	大網白里町フッ化物洗口事業実施要綱を定めた。	フッ化物洗口によるむし歯予防の位置づけが確立された。
学校長会での事業説明	山武郡市歯科医師会から本事業実施施設の募集を受け、昨年より本事業に興味を示していた小学校での実施を検討していたところ、学校長より、学校長会で事業説明を行って欲しい旨申し出があり、学校長会での事業説明を行う。	一部の中学校長より「教育現場で実施することか」等の意見が出され、実施校の学校長が尻込みする場面もあった。実際に協力するのは養護教諭であることから養護教諭に対して事業説明をして欲しいという意見が出た。
養護教諭部会での事業説明	養護教諭部会へ出向き、フッ化物洗口事業の説明を行う。	フッ化物洗口反対の強い態度があり、理解は得られなかった。
実施施設の募集 (希望調査)	小学校、中学校において希望調査を実施	実施希望をする学校は無かった。
公立幼稚園の実施について協議	基盤整備を進めていた公立幼稚園 4 園が消極姿勢をとったため、園長、教育委員会、担当課で協議を行う。	降園後、保護者立会いのもとでの実施で合意。実施は約束されたものの受け入れは悪い。

3. 施設における取り組み内容

施設① 増穂小学校・対象児童 370 名（全学年）・職員数 24 名

実施事項	具体的な内容	評価
教職員への事業説明	4月3日 フッ化物洗口の安全性と予防効果についての講演並びに事業説明、洗口体験を実施 講師：学校歯科医 加納晃嗣先生	新たに赴任された先生方にも理解が得られた。
希望調査	4月7日 在校生 300 名に希望調査用紙を配布 (新入生は2月の入学説明会で配布)	
在校生洗口開始	4月17日、18日 平成20年度フッ化物洗口事業がスタート。週1回法により各日8クラスずつ、クラスごとに朝又は昼休みに実施している。 0.2%フッ化ナトリウム溶液を低学年は7ml、中、高学年は10ml口に含み、1分間の洗口を行う。 基本的にクラス担任へ一任し、実施しやすい方法で行っている。	昨年度からの継続実施につき、問題なく実施している。
新入生歯みがき開始	4月14日 給食の開始にともない、新入生の歯みがきがスタート。(フッ化物洗口開始年度より、歯みがきが導入された)	学校での歯みがきが習慣化され、職員の意識が向上
新入生洗口練習	4月21日 新入生の洗口練習開始 実際に使用する器具に水道水を入れて実施	クラス担任にとっても3年目になるので、問題なく実施している。
新入生洗口開始	5月8日・9日 新入生の洗口開始	洗口練習をしていたのでスムーズに実施できた。
次年度の実施について協議	1月21日 学校長、教頭、養護教諭、町健康介護課副課長、町歯科衛生士5名で次年度の実施について協議	学校長が代わり次年度の実施について理解が得られず、次年度の実施を断念することになった。
啓発文書の配布	事業終了にともない、今後のむし歯予防について啓発文書を配布	フッ化物の利用について知識の普及を行った。

施設② 学校法人大網木の花幼稚園 園児数 285 人（対象者 207 人・希望者 204 人）職員数 28 人

実施事項	具体的な内容	評価
希望調査	4月4日希望調査用紙を配布 (保護者説明会は3月に実施)	
職員への事業説明	4月24日園職員に対し、事業説明及び洗口体験を実施	職員間の共通理解が図れた。

実施事項	具体的な内容	評価
うがいの練習	5月7日 実際に使用する器材を使用し、真水による洗口練習を開始	イメージがつかめ、また思った以上に上手にうがいができたとのこと。
洗口開始	6月2日 洗口開始。 週5回法により、クラスごとに登園後実施 0.05%フッ化ナトリウム溶液 5ml を口に含み、30秒間の洗口を行う。	初日ということで全体で実施。洗口練習をしていたのでスムーズに実施できた。 問題なく実施している。
保護者説明会1	1月27日 入園説明会において、1年保育、2年保育の新入園児保護者を対象に町歯科衛生士による事業説明並びにフッ化物洗口体験、希望調査用紙の配布を行う。	多くの保護者の理解を得るうえで、入園説明会での事業説明は有効であった。22名の参加が得られた。
保護者説明会2	3月19日 終了式において、新年中児の保護者を対象に講演並びに事業説明、フッ化物洗口体験、希望調査用紙の配布を行った。(写真2) 講師：園歯科医師 齋藤百代先生	多くの保護者の理解を得るうえで、終了式での事業説明は有効であった。69名の参加が得られた。
啓発文書の配布	卒園にあたり事業が終了するため、啓発文書を配布	フッ化物の利用について知識の普及を行った。

施設③ 社会福祉法人あさひ保育園・園児数 123名(対象者 54名・希望者 54名)・職員数 35名

実施事項	具体的な内容	評価
保護者説明会	6月19日 はみがき教室と保護者説明会を同時開催した。年中児、年長児の保護者を対象に講演並びに事業説明、フッ化物洗口体験を行った。 講師：園歯科医師 積田正和先生	保護者の参加は12名と少なかったが、パワーポイントを使用した講演は大変分かりやすく理解を深められた。
希望調査	6月30日 希望調査用紙を配布	対象者数 54名全員希望。実施率 100%。
職員への事業説明	9月4日 園職員に対し、事業説明及び洗口体験を実施	職員間の共通理解が図れた。誤って飲み込んだ時の対処法について質問あり。
うがいの練習	9月8日 実際に使用する器材を使用し、真水による洗口練習を開始した。	イメージがつかめたようである。
洗口開始	11月14日 洗口開始	洗口練習をしていたのでスムーズに実施できた。 問題なく実施している。
啓発文書の配布	卒園と同時に事業が終了するため、啓発文書を配布	フッ化物の利用について知識の普及を行った。

施設④ 大網白里町立大網幼稚園・園児数 99 名 (対象者 40 名・希望者 34 名)・職員数 10 名

実施事項	具体的な内容	評価
保護者説明会・希望調査	12 月 3 日 年長児の保護者を対象に講演並びに事業説明、フッ化物洗口体験、希望調査用紙の配布を行った。 講師：園歯科医師 古川弘通先生	説明会の参加は 9 名と少ない。希望調査では、対象者数 40 名のところ 34 名の希望があった。実施率 85%
職員への説明	1 月 20 日 器材の搬入と実施方法の説明を行う。 (担当者への説明は 3 月に実施済み)	職員間の共通理解が図れた。
洗口開始	1 月 26 日 洗口開始	降園後、保護者立会いのもとでのスタートとなり保護者の理解と意識の向上が見られた。
啓発文書の配布	卒園と同時に事業が終了するため、啓発文書を配布	フッ化物の利用について知識の普及を行った。

施設⑤ 大網白里町立瑞穂幼稚園・園児数 145 名 (対象者 55 名・希望者 42 名)・職員数 9 名

実施事項	具体的な内容	評価
保護者説明会・希望調査	12 月 4 日 年長児の保護者を対象に講演並びに事業説明、フッ化物洗口体験、希望調査用紙の配布を行った。 講師：園歯科医師 倉島英俊先生	説明会の参加は 48 名。希望調査では、対象者数 55 名のところ 42 名の希望があった。実施率 76.4%。
職員への説明	1 月 16 日 器材の搬入と実施方法の説明を行う。 (担当者への説明は 3 月に実施済み)	職員間の共通理解が図れた。
洗口開始	1 月 26 日 洗口開始	降園後、保護者立会いのもとでのスタートとなり保護者の理解と意識の向上が見られた。
啓発文書の配布	卒園と同時に事業が終了するため、啓発文書を配布	フッ化物の利用について知識の普及を行った。

施設⑥ 大網白里町立増穂幼稚園・園児数 99 名 (対象者 45 名・希望者 22 名)・職員数 9 名

実施事項	具体的な内容	評価
保護者説明会・希望調査	11 月 28 日 年長児の保護者を対象に講演並びに事業説明、フッ化物洗口体験、希望調査用紙の配布を行った。 講師：園歯科医師 宇井康悦先生	説明会の参加は 33 名。希望調査では、対象者数 45 名のところ 22 名の希望があった。実施率 48.9%。
職員への説明	1 月 15 日 器材の搬入と実施方法の説明を行う。 (担当者への説明は 3 月に実施済み)	担当職員のみへの説明であったため職員の共通理解については疑問

洗口開始	1月26日 洗口開始	降園後、保護者立会いのもとでのスタートとなり保護者の理解と意識の向上が見られた。
啓発文書の配布	卒園と同時に事業が終了するため、啓発文書を配布	フッ化物の利用について知識の普及を行った。

施設⑦ 大網白里町立白里幼稚園・園児数 59 名 (対象者 28 名・希望者 26 名)・職員数 8 名

実施事項	具体的な内容	評価
保護者説明会・希望調査	12月1日 年長児の保護者を対象に講演並びに事業説明、フッ化物洗口体験、希望調査用紙の配布を行った。 講師：園歯科医師 齋藤晃朗先生	説明会の参加は 25 名。希望調査では、対象者数 28 名のところ 26 名の希望があった。実施率 92.9%。
職員への説明	1月15日 器材の搬入と実施方法の説明を行う。(担当者への説明は3月に実施済み)	職員間の共通理解が図れた。
洗口開始	2月2日 洗口開始。 インフルエンザの流行により他園より1週遅れでの開始となった。	降園後、保護者立会いのもとでのスタートとなり保護者の理解と意識の向上が見られた。給食後の歯磨きについても保護者より声があがった。
啓発文書の配布	卒園と同時に事業が終了するため、啓発文書を配布	フッ化物の利用について知識の普及を行った。

4. 問題となったこと・今後の課題とその対応について

実施していた小学校において、学校長が代わったことで理解が得られなくなり、次年度の実施を断念することになった。また小中学校で実施が拡大されないことを受け、幼稚園、保育所も消極的になっており、実施継続が困難な状況である。

実施施設の拡大と保護が今後の課題であるが、学校長や養護教諭の理解が得られない中での実施は非常に困難なため、国や県レベルにおいてフッ化物の正しい知識や学童期の歯科保健の重要性について、学校現場に浸透するような働きかけを行って欲しい。

5. 21年度以降の事業の予定・市町村事業としての予算化の有無

平成 21 年度予算計上済み。
平成 22 年度以降も必要最小限の予算確保に努めたい。

平成20年度 フッ化物洗口普及モデル事業実施報告書

【市町村名】 茂原市

【郡市歯科医師会名】 茂原市長生郡歯科医師会

実施施設数			
保育所数	幼稚園数	小学校数	中学校数
1	0	2	0

1. フッ化物洗口に関する前年度までの経緯

茂原市では平成 18 年度フッ化物洗口普及モデル事業（8020 運動推進特別事業）を受け、萩原小学校（児童数 635 名）をモデル校として、平成 18 年 12 月より実施した。また、二宮小学校（児童数 183 名）においては平成 17・18 年度文部科学省委託事業「生活習慣病予防等を目指した歯・口の健康づくり調査研究事業」を受け、歯と口の健康づくりに力を入れてきたことで、教職員・保護者も歯に関心が高く、次年度も継続して取り込むことになり、平成 19 年度よりフッ化物洗口の実施となった。昨年度は養護部会や校長会での説明会等実施し、フッ化物の安全性については東京歯科大学教授の眞木先生をお迎えし研修会を実施するに留まり、実施校を増やすにはいたらなかった。

2. 推進体制づくりの経緯

実施事項	具体的な内容	評価
周知	平成 20 年度県歯科医師会でのモデル事業の通知を受け、郡市歯科医師会より管轄の教育委員会及び児童家庭課に文書で周知してもらう。	児童家庭課から、対応について問い合わせがあり、8 月各所長に打診してもらった。
管内養護部会研修会	7 月 23 日 県歯科医師会の通知を受け、新規希望校を募るため、養護教諭への説明会を実施した。	日常の業務の中での実施は難しい。安全性についても疑問だ等の声があり、持ち帰り検討することになる。

3. 施設における取り組み内容

施設① 専門家による研修会の実施

実施事項	具体的な内容	評価
研修会	平成 21 年 1 月 27 日 東京歯科大学衛生学講座教授の眞木先生を講師に「フッ化物洗口に関する安全性について」研修会を実施。 対象：市内保育所・幼稚園（私立含む）の保育士等・関係職員 参加：21 名	フッ化物について具体的な知識、進め方等説明を受け、う蝕予防の効果や安全性についての理解が得られた。

施設①二宮保育所 園児数 72 名（対象 4 歳児 13 名・5 歳児 24 名）・職員 11 名

基盤整備と実施 21 年 2 月より洗口開始 対象児 37 名全員希望

実施事項	具体的な内容	評価
保育所職員説明	12 月 8 日 市歯科衛生士による打合せ 担当課の係長も同席	実施に当たり手順等理解が図れた。

保護者説明会	12月10日 3・4・5歳児保護者説明会 講師は当市職員歯科衛生士が担当参加者約55人 次年度に向け3歳児の保護者にも参加してもらった。 1月に入り4・5歳児希望調査し全員希望	歯科保健とフッ化物に対する一般的な応用についても触れ、保護者の理解が得られた。
園児洗口練習	1月30日 給食後4・5歳児にフッ化物洗口の説明と練習を実施した。 2月2日～6日 水による洗口の練習	実際の洗口についてのイメージがつかめた。
視察	2月4日 二宮小学校に視察に行く。所長、クラス担当の保育士2名、市職歯科衛生士の4名参加。養護教諭から薬の保管や作る手順等アドバイスを受け、見学は2年生のクラスを見学	実際の行なっている担当者からの説明は納得のいくものであり、不安が払拭されたようだ。
開始	2月9日 毎日法(月～金)で給食後歯をみがき、洗口する手順で開始した。洗口液は担任保育士が計量し手渡す。 4・5園児当初は30秒で洗口したが徐々に1分に近づけるとのこと。職員も実際にやってみて味を体験した。	インフルエンザのため開始が1週間遅れたが、それが十分な練習期間となり、問題もなく現在実施に至っている。

4. 問題となったこと・今後の課題とその対応について

- ・今回歯科医師会から児童家庭課にも直接文章を送っていただいたことが、実施につながったので、実施する団体からの文章は効果的であった。今後も積極的に周知いただきたい。
- ・実施するには学校のトップの理解も不可欠であり、養護教諭へのアプローチ不足もあったので、今後は理解が得られるよう機会をつくり説明していきたい。
- ・学校での実施に向け、住民への周知を図り気運を高めていくことが必要と思われる。

5. 21年度以降の事業の予定・市町村事業としての予算化の有無

現在実施の小学校2校については、教育委員会からの予算で継続する。
今年度実施の保育所は必要な薬剤については購入済みなので実施する。

6. 記録写真等



1月27日 研修会



2月4日 小学校へ視察

平成20年度 フッ化物洗口普及モデル事業実施報告書

【市町村名】 長生村

【郡市歯科医師会名】 茂原市長生郡歯科医師会

実施施設数			
保育所数	幼稚園数	小学校数	中学校数
3	0	0	0

1. フッ化物洗口に関する前年度までの経緯

乳児健診・1歳半健診・わんぱく教室(2歳児)・3歳児健診時に、集団・個別の歯科保健指導を実施してきた。3歳を過ぎると歯科保健指導の機会がなく、う蝕が増大してしまうことからフッ化物洗口モデル事業について健康指導係内部で話し合い関係者の同意が得られれば実施することにし、平成18年3月健康づくり推進協議会並びに保健事業担当者打合せ会議にて提案し、関係者と協議することとした。

その結果、村内3保育所の協力が得られ、平成19年度からの実施へ向けて、保護者説明会の開催及び園児への歯科指導・水洗口を実施した。20年度も同様に実施した。

2. 推進体制づくりの経緯

実施事項	具体的な内容	評価
教育委員会への事業説明・協議	平成20年度から小学校でのフッ化物洗口事業を実施できないか協議。村歯科医師から、教育長、学校教育課長、学校教育課主幹へフッ化物洗口について詳しく説明をしていただく。 その後、学校教育課と何度か協議したが、平成20年度からの実施にはいたらなかった。 同じく21年度からのフッ化物洗口事業を実施できないか小学校長、教育委員会、学校教育課と協議をしたが、実施にはいたらなかった。	教育委員会から安全性について慎重な意見がでる。 学校の協力が得られませんでした。
事前協議	福祉課、保育所長と年中児保護者に対する説明会および、年中児への歯科指導・水洗口の実施日程を協議	保育所長より、今年度年長児が小学校入学してからもフッ化物洗口が継続できるようにならないかとの意見がでる。
歯科医師との事前協議	電話にて、保護者説明会に際しての事前協議を行う。演題は昨年と同様で、主に「フッ化物洗口効果と安全について」に決定	昨年度と同様に、3保育所ともそれぞれ違う講師で実施するため話す内容を予め確認した。

3. 施設における取り組み内容

施設① 長生村立八積保育所 児童数141人（対象者数年長42人 年中36人）職員数12人

実施事項	具体的な内容	評価
フッ化物洗口実施	平成20年4月 年長児のフッ化物洗口開始	

保護者説明	平成 21 年 1 月 22 日 午後 4 時から 4 時 30 分 歯科検診担当歯科医師を講師に、フッ化物洗口に関する保護者説明会を実施 フッ化物のお話は歯科医師、洗口実技は歯科衛生士が行う。 保護者に洗口体験実施し、申込書の配付 申し込みはいつでも申し出れば変更することができる旨説明した。	夕方で参加しやすい時間に開催した。 短時間で歯科医師・歯科衛生士で分担したため参加者の理解が得やすかった。
洗口練習	2 月 12 日開始 3 歳以上の園児全員。むし歯のお話を劇で実施後、歯磨き体操をする。その後クラスに戻り年中児のみ平成 21 年 4 月からのフッ化物洗口実施に向けて水道水による洗口練習を週 5 日実施する。洗口用の器具を実際に使用して行った。	説明をしても理解の遅い児がいるが、気長に練習させることにし、無理なく可能になったら実施する。ブクブクうがいの習慣化を図る。
洗口の実施	平成 21 年 4 月より開始予定 保護者には、文書で通知する予定である。	申し込みの変更がないか確認

施設② 長生村立高根保育所 児童数 140 人（対象者数年長 43 人、年中 38 人）職員数 11 人

実施事項	具体的な内容	評価
フッ化物洗口実施	平成 20 年 4 月 年長児のフッ化物洗口開始	
保護者説明	平成 21 年 1 月 29 日 午後 4 時から 4 時 30 分 歯科検診担当歯科医師を講師に、フッ化物洗口に関する保護者説明会を実施 フッ化物のお話は歯科医師、洗口実技は歯科衛生士が行う。 保護者に洗口体験実施し、申込書の配付 申し込みはいつでも申し出れば変更することができる旨説明した。	夕方で参加しやすい時間に開催した。 短時間で歯科医師・歯科衛生士で分担したため参加者の理解が得やすかった。
洗口練習	2 月 5 日開始 3 歳以上の園児全員。むし歯のお話を劇で実施後歯磨き体操をする。その後クラスに戻り年中児のみ平成 21 年 4 月からのフッ化物洗口に向けて水道水による洗口練習を週 5 日実施する。洗口用の器具を実際に使用して行った。	無理なく可能になったら実施する。ブクブクうがいの習慣化を図る。
洗口の実施	平成 21 年 4 月より開始予定 保護者には、文書で通知する予定である。	申し込みの変更がないか確認

施設③ 長生村立一松保育所 児童数 79 人（対象者数年長 22 人、年中 34 人）職員数 7 人

実施事項	具体的な内容	評価
フッ化物洗口実施	平成 20 年 4 月 年長児のフッ化物洗口開始	

保護者説明	平成 21 年1月 15 日 午後4時から4時 30 分 参加保護者 17 名 歯科検診担当歯科医師を講師に、フッ化物洗口に関する保護者説明会を実施 フッ化物のお話は歯科医師、洗口実技は歯科衛生士が行う。 保護者に洗口体験実施し、申込書の配付 申し込みはいつでも申し出れば変更することができる旨説明した。	夕方に参加しやすい時間に開催した。 短時間で歯科医師・歯科衛生士で分担したため参加者の理解が得やすかった。
洗口練習	2月 20 日開始 3歳以上の園児全員。むし歯のお話を劇で実施後歯磨き体操をする。その後クラスに戻り年中児のみ平成 21 年4月からのフッ化物洗口実施に向けて水道水による洗口練習を週5日実施する。 洗口用の器具を実際に使用して行った。	無理なく可能になったら実施する。ブクブクうがいの習慣化を図る。
洗口の実施	平成 21 年4月より開始予定 保護者には、文書で通知する予定である。	申し込みの変更がないか確認

4. 問題となったこと・今後の課題とその対応について

- ・ 保育所年長児にフッ化物洗口を実施して、1年間だけで終わってしまうのは残念。保護者から小学校に行ってもフッ化物洗口をやってほしいとの声も聞かれたので、これからも学校の協力を働きかけていきたい。

5. 21 年度以降の事業の予定・市町村事業としての予算化の有無

- ・ 村の5 年計画(平成 18 ～ 22 年度)にはフッ化物洗口事業を盛り込んだ。

6. 記録写真等



歯科医師による保護者説明会



歯科衛生士による保護者説明会



歯科衛生によるむし歯予防(劇)



保育所園児水洗口練習

平成20年度 フッ化物洗口普及モデル事業実施報告書

【市町村名】 市原市

【郡市歯科医師会名】 市原市歯科医師会

実施施設数			
保育所数	幼稚園数	小学校数	中学校数
7	13	2	0

1. フッ化物洗口に関する前年度までの経緯

平成 13 ～ 16 年度 市委託事業『かかりつけ歯科医機能支援事業』において「フッ化物応用マニュアル」の作成、フッ化物に関する専門職意識調査及び研修会の開催をした。また、フッ化物洗口及びフッ化物歯面塗布実施歯科医院名簿の作成、配布や市保健事業への協力を行ってきた。平成 17 年に、私立幼稚園で市内初のフッ化物洗口開始。平成 18 年度 県「フッ化物洗口普及モデル事業」により 3 施設がフッ化物洗口を開始し、平成 19 年度には市内の実施施設は 17 施設まで増加した。本会は、各学校(園) 歯科医が事業開始にあたり情報提供及び実施へむけた支援、保健指導を行ってきた。

2. 推進体制づくりの経緯

実施事項	具体的な内容	評価
協力依頼	平成 20 年 12 月 25 日 本会 会長から、会員あてに協力文書の発送	会員から事業実施にあたり協力を得ることができた。
フッ化物洗口講演会	日程：平成 21 年 2 月 4 日 演題：地域でのフッ化物洗口の推進について ～小学校での取り組み～ 講師：君津木更津歯科医師会専務理事 鎌田誠先生 対象：学校歯科医 参加：39 人 会場：市原市急病センター	小学校での取り組みモデルを聞いて、フッ化物洗口推進の基盤整備ができた。
フッ化物洗口報告会	日程：平成 21 年 3 月 26 日 基調講演：健康格差社会における専門職種の役割 ～科学的根拠に基づいたフッ化物応用の情報提供～ 講師：国立保健医療科学院 安藤雄一先生 事業報告：幼稚園歯科医師・幼稚園教頭・保育所看護師・保健センター歯科衛生士(4件) 対象：市民・歯科医師・歯科衛生士等 参加：56 人 会場：市原市保健センター	フッ化物洗口及びフッ化物に関する啓発ができた。
フッ化物洗口推進研究会(主催：市)	第 1 回 平成 20 年 10 月 29 日 第 2 回 平成 21 年 2 月 17 日 学識経験者、歯科医師会、市民代表(PTA 会長)、教諭(校長・養護教諭)、幼稚園教諭(園長)、教育委員会、保育所保育士(所長)、保育課、保健センター等関係者による研究会を設置。フッ化物洗口実施について経過報告及び今後の課題について意見交換を行った。	フッ化物洗口推進についての意見交換ができた。特に学校におけるフッ化物洗口普及に関する問題点を整理できた。今後の推進に向けてさらに検討が必要である。

実施事項	具体的な内容	評価
フッ化物洗口普及事業 講演会（主催：市）	第1回 日程：平成20年10月9日 対象：施設部会（保育所長） 参加：17人 講師：日本大学松戸歯学部 小林清吾先生 会場：市原市役所	保育所長へ情報提供することで、安心感や共通認識を得ることができた。 地域や保護者に情報提供することで、安心感や共通認識を得ることができた。 保育士、看護師、教諭等へ情報提供をを図ることで、基盤整備を推進することができた。
	第2回 日程：平成20年12月17日 対象：市民・保育所保護者及び保育士 参加：19人 講師：日本大学松戸歯学部 小林清吾先生 会場：市原市立白鳥保育所	
	第3回 日程：平成21年3月24日 対象：保育士・幼稚園及び学校教諭等 参加：15人 講師：日本大学松戸歯学部 小林清吾先生 会場：市原市保健センター	
フッ化物洗口普及 モデル事業説明	第1回 日程：平成20年8月5日 対象：保育所長 会場：市原市役所 参加：所長17人 関係課3人	新規で2か所のモデル施設応募があった。 事業報告及び意見交換ができた。
	第2回 日程：平成20年12月16日 対象：校長会（小学校校長、幼稚園長） 会場：市原市教育会館 参加：校長及び園長51人 関係課等	

3. 施設における取り組み内容

※事業を実施した施設ごとに記載のこと

継続施設への支援（小学校）

- ①市立鶴舞小学校（毎木曜日：朝の会時実施）1～6年 134人／140人
- ②市立平三小学校（毎水曜日：給食後実施）1～6年 26人／26人

実施事項	具体的な内容	評価
保護者説明	市立鶴舞小学校 市歯科衛生士による「歯っぴい講座」 平成20年6月20日 1～6年児童 市立平三小学校 平成20年度新入学児保護者 ・就学児健診時 教務、養護教諭による説明 （市より資料のみ提供） ・市歯科衛生士による「歯っぴい講座」 平成20年4月26日 1年 児童・保護者 （授業参観時同時開催）	保護者・児童の理解を得ることができて、スムーズに継続実施ができた。

継続施設への支援（公立幼稚園：全6園）

- ③ 市立牛久幼稚園（週5回月～金曜日：給食後実施） 5歳児 36人／36人
4歳児 30人／30人
- ④ 市立辰巳台幼稚園（週5回月～金曜日：1クラス給食後実施1クラス登園時実施）
5歳児 65人／69人
- ⑤ 市立惣社幼稚園（週5回月～金曜日：給食後実施） 5歳児 55人／55人
- ⑥ 市立八幡幼稚園（週5回月～金曜日：給食後実施） 5歳児 30人／33人
- ⑦ 市立千種幼稚園（週5回月～金曜日：登園後実施） 5歳児 69人／69人
- ⑧ 市立有秋幼稚園（週5回月～金曜日：登園後実施） 4歳児 26人／26人
5歳児 26人／26人

実施事項	具体的な内容	評価
保護者説明会	市歯科衛生士による「8020ニコニコ教室」 辰巳台幼稚園 平成20年6月30日(5歳児保護者) 惣社幼稚園 平成20年6月23日(5歳児保護者) 八幡幼稚園 平成20年6月26日(5歳児保護者) 有秋幼稚園 平成20年6月24日(5歳児保護者) 千種幼稚園 平成20年6月25日(5歳児保護者) 牛久幼稚園 平成20年6月27日(4歳児保護者)	情報提供をすることで十分に理解を得ることができた。また、親子でうがいの練習ができたことで、不安の解消につながった。
保護者説明会	市歯科衛生士による「8020ニコニコ教室」 辰巳台幼稚園 平成21年2月20日(4歳児保護者) 惣社幼稚園 平成21年2月10日(4歳児保護者) 八幡幼稚園 平成21年2月9日(4歳児保護者) 有秋幼稚園 平成21年2月6日(4歳児保護者) 千種幼稚園 学級閉鎖により中止 21年度実施予定(4歳児保護者)	向けた基盤整備ができた。また、有秋幼稚園は実施計画を前倒し、3学期から4歳児もフッ化物洗口開始を開始した。

継続施設への支援（私立幼稚園）

- ⑨ マリア・インマクラダ幼稚園（週4回月火木金曜日：給食後実施） 5歳児 45人／48人
- ⑩ 市原みのり幼稚園（週5回月～金曜日：給食後実施） 5歳児 40人／40人
- ⑪ 市原ふじ幼稚園（週5回月～金曜日：給食後実施） 5歳児 61人／61人
- ⑫ 玉泉幼稚園（週5回月～金曜日：給食後実施） 5歳児 89人／89人

実施事項	具体的な内容	評価
保護者説明会	市歯科衛生士による「8020ニコニコ教室」 マリア・インマクラダ幼稚園 平成20年5月12日(5歳児保護者) 市原みのり幼稚園 平成20年6月10日(3～5歳児保護者) 市原ふじ幼稚園 平成20年6月9日(3～5歳児保護者)	保護者の理解を得ることができて、スムーズに継続実施ができた。
保護者説明会	マリア・インマクラダ幼稚園(母親のつどい) 市歯科衛生士による「歯っぴい講座」 平成21年2月18日(3～5歳児保護者)	情報提供をすることで、理解を深め不安の解消につながった。

継続施設への支援（保育所）

- ⑬ 三和保育所（週5回月～金曜日：給食後実施）4歳児 17人／17人
5歳児 14人／14人
- ⑭ 鶴舞保育所（週5回月～金曜日：午前実施）5歳児 10人／10人
- ⑮ 里見保育所（週5回月～金曜日：給食後実施）5歳児 10人／10人
- ⑯ 辰巳保育所（週3回月水金曜日：給食後実施）4歳児 34人／35人
5歳児 39人／40人
- ⑰ 今津保育所（週3回月～金曜日：給食後実施）5歳児 19人／19人

実施事項	具体的な内容	評価
保護者説明会	今津保育所 平成20年12月19日(5歳児保護者) 園医による保護者説明会(クリスマス会同時開催) 対象：全在籍児保護者	情報提供をすることで、 理解を深め不安の解消 につながった。
うがいの練習	市歯科衛生士による「8020ニコニコ教室」 三和保育所 平成20年10月20日(3～5歳児) 鶴舞保育所 平成20年10月15日(3～5歳児) 里見保育所 平成20年10月17日(3～5歳児) 辰巳保育所 平成20年10月21日(3～5歳児) 今津保育所 平成20年10月14日(3～5歳児)	幼児自身もフッ化物の 効果を理解し、うがいの 実習ができた。

継続施設への支援（私立幼稚園）

- ⑱ 白鳥保育所（週5回月～金曜日：給食後実施）4歳児 3人／3人 5歳児 6人／6人

実施事項	具体的な内容	評価
打ち合わせ	平成20年9月17日 モデル事業について保育所歯 科医師と市歯科衛生士打ち合わせを実施	事業実施に際して、確 認・準備ができた。
打ち合わせ	平成20年9月18日 保育所長と市歯科衛生士で今 後のタイムスケジュールについて打ち合わせを実 施	不安なく開始できるよう 体制を整えることができ た。
保護者説明会	平成20年12月17日 小林清吾教授 保育所歯科医師 会場：白鳥保育所ホール (クリスマス会同時開催) 対象：全在籍児保護者	保護者の理解を得た上 で希望調査ができた。 また、近隣の小学校 PTAの参加もあり、地 域への啓発もできた。
希望調査	平成20年12月18日 希望調査票の配布	
職員勉強会	平成20年12月26日 市歯科衛生士による勉強会の実施 対象：保育士	職員の理解と共通認識 ができた上で実施に向 かうことができた。
フッ化物洗口開始	平成21年1月19日 開始	事前準備や確認連絡が 十分にできていたため、 問題なく開始できた。

新規施設への支援

⑱ 高滝保育所 (週5回月～金曜日：給食後実施) 4歳児4人／4人5歳児10人／10人

実施事項	具体的な内容	評価
打ち合わせ	平成20年9月17日 モデル事業について保育所歯科医師と市歯科衛生士打ち合わせを実施	事業実施に際して、確認・準備ができた。
打ち合わせ	平成20年9月18日 保育所長と市歯科衛生士で今後のタイムスケジュールについて打ち合わせを実施	不安なく開始できるよう体制を整えることができた。
保護者説明会	平成20年11月13日 保育所歯科医師 会場：高滝保育所ホール (親子陶芸教室同時開催) 対象：3～5歳児保護者	保護者の理解を得た上で希望調査ができた。
希望調査	平成20年12月8日 希望調査票の配布	
職員勉強会	平成20年12月9日 市歯科衛生士による勉強会の実施 対象：保育士 (平成20年12月19日 白鳥保育所保護者説明会へ保育士2人出席)	職員の理解と共通認識ができた上で実施に向かうことができた。
フッ化物洗口開始	平成21年1月13日 開始	事前準備や確認連絡が十分にできていたため、問題なく開始できた。

新規施設への支援

⑳ 姉ヶ崎幼稚園 (週1回水曜日：給食後実施) 5歳児25人／25人

実施事項	具体的な内容	評価
打ち合わせ	平成20年5月15日 モデル事業について園長、園歯科医師、市歯科衛生士打ち合わせを実施	事業実施に際して、確認・準備ができた。
保護者説明会	平成20年6月2日 市歯科衛生士による「8020ニコ教室」 対象：5歳児保護者 会場：姉ヶ崎幼稚園ホール 平成21年3月17日 市歯科衛生士による「歯っぴい講座」 対象：3～5歳児の保護者 会場：姉ヶ崎幼稚園ホール	保護者の理解を得た上で希望調査ができた。 次年度への準備として、保護者の理解を得ることができた。
希望調査	平成20年6月2日 希望調査票の配布	
職員勉強会	平成20年5月26日 市歯科衛生士による勉強会の実施 対象：教諭	職員の理解と共通認識ができた上で実施に向かうことができた。
フッ化物洗口開始	平成20年7月7日 開始	事前準備や確認連絡が十分にできていたため、問題なく開始できた。

新規施設への支援

②1 第二姉ヶ崎幼稚園 (週5回月～金曜日：給食後実施) 5歳児 24人 / 25人

実施事項	具体的な内容	評価
打ち合わせ	平成20年6月3日 モデル事業について園長、園歯科医師、市歯科衛生士打ち合わせを実施	事業実施に際して、確認・準備ができた。
保護者説明会	市歯科衛生士による「8020ココ教室」 平成20年5月27日 (5歳児保護者) 会場：第2姉ヶ崎幼稚園ホール	保護者の理解を得た上で希望調査ができた。
希望調査	平成20年6月23日 希望調査票の配布	
職員勉強会	平成20年8月28日 市歯科衛生士による勉強会の実施 対象：教諭	職員の理解と共通認識ができた上で実施に向かうことができた。
視察	平成20年11月4日 幼稚園長及び教諭が近隣の市立有秋幼稚園へフッ化物洗口視察	実際のフッ化物洗口を見学することで不安なく開始することができた。
フッ化物洗口開始	平成21年12月1日 開始	事前準備や確認連絡が十分にできていたため、問題なく開始できた。

新規施設への支援

②2 心花幼稚園 (週5回月～金曜日：給食後実施) 4歳児 55人 / 56人

5歳児 75人 / 76人

実施事項	具体的な内容	評価
職員勉強会	平成20年8月7日 市歯科衛生士による勉強会の実施 対象：教諭 フッ化物洗口の効果と安全性に関する情報提供後園内で実施に関して検討する。	園教諭のフッ化物洗口の効果と安全性の理解により、園での実施が方向づけられた。
保護者説明会	平成20年9月11日 園歯科医師 会場：幼稚園ホール (親子運動会の親子遊戯の練習同時開催) 対象：3～5歳児保護者	保護者の理解を得、フッ化物洗口実施の合意ができた。
打ち合わせ	平成20年10月30日 園長、園歯科医師、市歯科衛生士でフッ化物洗口実施へ向けた最終確認と今後のタイムスケジュールについて打ち合わせを実施	不安なく開始できるよう体制を整えることができた。
打ち合わせ	平成20年12月17日 園長、園歯科医師、市歯科衛生士でフッ化物洗口実施へ向けた最終確認を実施	十分な安全性の確認と体制を整えることができた。
職員勉強会	平成20年12月22日 市歯科衛生士による勉強会の実施 (園医の指示のもと実習を中心に) 対象：教諭	職員の理解を得不安なく実施に向かうことができた。
希望調査	平成21年1月8日 希望調査票の配布	
フッ化物洗口開始	平成21年1月20日 開始	事前準備や確認連絡が十分にできていたため、問題なく開始できた。

4. 問題となったこと・今後の課題とその対応について

学校でのフッ化物洗口開始施設の増加が今後の課題である。フッ化物洗口の効果や安全性について関係者間の十分な理解を得て、実施施設の継続や新規開始施設の増加につながるよう関係機関との連携を深めていきたい。

また、補助事業の終了により今後費用面や学術的な情報提供等の支援がなくなると、現在実施施設の継続にも問題が生じることも考えられるため補助事業の復活を強く希望する。県歯科医師会に対しても、学校（園）歯科医の資質の向上のため研修会の開催や資料の提供など継続支援を要望したい。また、県・市・教育委員会などが予算面での対応や協力依頼文書など実施の支援を検討してほしい。

5. 21年度以降の事業の予定・市町村事業としての予算化の有無

市歯科医師会として現在、フッ化物洗口を実施している施設については継続できるよう支援を続けていきたい。

市原市では市の予算として、フッ化物洗口推進研究会の予算化の継続を要望しているとのことである。本会としても研究会への参画は継続していきたい。また、市原市としてフッ化物洗口普及事業講演会も予算要望も継続の予定であり、本会としては同じくこの事業への協力も継続していきたい。

6. 記録写真等

